

『特別支援教育に生かす外国語活動』

塚田 初美(旭川市立愛宕小学校)

1 something is falling down.....コミュニケーションスキル・自己認知スキル

- ★ 相手の話に傾聴することが苦手な子どもが楽しみながら「聞くこと」を意識するゲームです。
 - ★ 体の部位のトピックでは、自分の体の部位を意識させ、触感を高めます。
 - ★ 「落ちた落ちた」ゲームを幼稚に感じる児童でも英語で行うことで、積極的に取り組みます。
- 手順「落ちた落ちたゲーム」の要領と同じ

- ① T. Something is falling down (ロンドンブリッジのメロディーで)
- ② S. falling down falling down one・two・three・four (指導者がお題→児童は動作)

(食べ物編) candy →口を開ける apple →掌ですくう ice cream →食べる

(自然編) rain. →手で傘を作る stars →きらきら星をする snow →震える

(からだ編) eyes ears nose mouth behind →さわる

(スポーツ編) baseball →バットで打つ soccer ball →蹴る

(その他) monster →爪でひっかく balloon. →息を吹き込む

* **ポイント!** 児童が、傾聴できない場合は、教師が、一人一人の子どもたちの掌の上にエアーリングなどを配り、集中をうながします。お題を出す役を児童にしてもらってもよいです。カードを使うと視角優位な児童にも取り組みやすくなります。スピードを上げたり、教師が異なる動作を入れたりすると難易度が上がります。

2 感情ぴったんこゲーム.....情緒の解放・言葉でコミュニケーション

- ★ 音楽やリズムに合わせて動くことが得意な児童が多いので、**リズム(8ビート) + 動作 + 言葉 = チャンツエクササイズ**を考えました。
- ★ ゲームを通して、**自分の感情や思いをスムーズに表現し、友人と感情ぴったんこの体験**をしてほしいと考えました。
- ★ 順番を守れるように順番表を作成し、順番が終わったらシールを貼るなどして、支援します。

準備 リズムボックス ブラックボックス いろいろなボール カード pc プロジェクター レーザーマウス

(スポーツ編・手順)..... **soccer base ball basketball (オセロやトランプなどとも O. K)**

- ① **単語を知る** 指導者の動作や言葉のまねをしながら、チャンツエクササイズをする。

- ② **センテンス** Let's play soccer. Let's play base ball などを同様に行う。

- ③ **ぴったんこゲーム**

- ・ 一人ずつ全員、はてなボックスからカードを一枚ずつ引く。
- ・ 一人ずつ、前に出てきて、自分のカード(例 soccer)と同じカードを持っている児童を探し、**Let's play soccer!**と誘う。相手は、**Let's go!**と答える。
- ・ 2人でサッカーボールを取りに行き、サッカーゴールの絵の前にボールをおいて着席。

(様子を表す言葉編・手順)..... **happy sad hungry sleepy tired angry**

- ① **単語** スポーツ編と同様にチャンツエクササイズ。(I'm happy.などのセンテンスは、省略可)

- ② **happy, sad, hungry...などの顔の絵を見て、単語を言う。**(リズムとICT活用)

- ③ **連想させる物(例ポケモン)→顔の絵(happy)→単語(happy)→先生の顔写真(happy)**

という順番でパワーポイント(ICT)を使って表情と言葉表現とを重ね合わせていく。

* 例 割れた花瓶→sad ごちそう→hungry ベッド→sleepy. etc.(連想物はいつも同じ物を使う。)

- ④ **ぴったんこゲーム**

- ・ 全員に一枚ずつ、**連想させる物のカード**(例ポケモンなど)を配る。
- ・ 一人ずつ、前に出てきて、はてなボックスから顔のカードを引く。引いたカードの**顔の絵(happy)**と同じ連想物カード(ポケモン)を持つ相手を見つけ、happy と言いながらハイタッチ。
- ・ 2人でテレビ型枠の前に行き、**I'm happy.**または **happy** と言う。

* 朝の健康調査や日常のコミュニケーションの手段としてカードを使う。参考文献:教室・家庭で今すぐ使える SST2009,11.20)